

平成27年度予算見積調書

課室名：農業支援課
 担当名：農業大学校担当
 内線：4052

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B58	農業大学校移転整備事業			一般会計	農林水産業費	農業費	農業大学校費	農業大学校移転整備事業費（単年度事業）	
事業期間	平成22年度～平成27年度	根拠法令	農業改良助長法第7条第1項第5号			戦略項目	08	埼玉農業の競争力強化	
						分野施策	030201	収益力ある農業の確立	
1 事業の概要 近年の農業大学校の入学生は、非農家出身者が多くを占めるなど就農を希望する学生が多様化している。そこで、農業の担い手養成の拠点施設である農業大学校を県内有数の農業地帯である県北の熊谷市に新たに整備し、将来の担い手を確保・育成することにより、新たな機能を付加し、魅力ある農業大学校を実現することにより、埼玉農業の持続的な振興を図る。 [単年度事業] (1) 監督業務等事務費 1,333千円 (2) 単年度測量試験・補償費 27,044千円 (3) 単年度工事関係費 85,382千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 監督業務等事務費 業務委託監督、検査等業務に必要な事務費 1,333千円 イ 単年度測量試験・補償費 診断・調査業務委託費 27,044千円 ウ 単年度工事関係費 廃棄対象教育備品処分費、家屋補償工事費ほか 85,382千円 (2) 事業計画 平成22年度 立地調査、基本設計 平成23年度 用地買収、測量試験、実施設計 平成24年度 南側土木造成工事、本館施設建築工事 平成25年度 北側土木造成工事、実習棟ほか建築工事 平成26年度 付替道路、水道引込、外構工事、ハウスほか建築工事 平成27年度 (移転開校)、工事影響家屋診断、既存備品整理、太陽光発電設置工事 (3) 事業効果 新たな機能を有した魅力ある農業大学校の整備により、多様な埼玉農業の担い手育成が可能となる。 (4) その他 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 ア 外部検討委員会を設置し、魅力ある農業大学校づくりの検討を実施。 イ 外構で使用する植木は寄付を実施。植栽は学生の活動により実施。 ウ 敷地管理の一部を直営により実施。 「前年度との変更点」 移転による本体工事は26年度に完了。 27年度はオオタカモニタリング調査、教育備品処分、家屋等調査工事、太陽光発電システム設置工事を実施。						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 地域活性化事業債(91,000千円)の元利償還金の30%が後年度基準財政需要額に算入される。									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3人=28,500千円									
			財 源 内 訳						
予算額		諸収入	県債					一般財源	前年との対比
決定額	113,759		101,000					12,759	784,626
前年額	898,385	160	898,000					225	